

平成28年度組織目標（自然環境保全課）

目標

番号	目標項目	目標設定の理由	目標値等（目標の内容） ※原則として定量的かつより成果を重視したものを設定	目標達成に向けての手段等	基本構想に係る 実施計画の 関連施策	総合戦略に係る 関連プロジェクト	担当所属
1	巨樹・巨木林、お花畑など貴重な生態系の保全	トチノキなどの巨樹・巨木林は野生動植物の生育・生息の場など様々な価値を有しており、次世代へ引き継ぐための保全策が必要である。	巨木の保全に関する協定締結 109本 (内訳) 協定新規分 60本 (H28～H32の5年間で210本を予定) 協定更新分 49本	○地域における保全団体の育成 ○山を活かす巨樹・巨木の森保全事業への支援 ○「山を活かす、山を守る、山に暮らす、奥びわ湖源流の会」の活動等による持続的活用の仕組みづくり ○巨樹・巨木林に関する地域での保全の取組を支援するための普及啓発	4-1 琵琶湖環境の再生と継承	琵琶湖と人の共生でにぎわい創生プロジェクト	自然環境保全課
		伊吹山のお花畑における希少な植生がニホンジカによる食害等の影響を受けており、保全・再生の取組が必要である。	○植生防護柵設置 900m ※お花畑東側区域の整備完了予定	米原市および伊吹山自然再生協議会との連携を図りながら取組を進める。	4-1 琵琶湖環境の再生と継承	琵琶湖と人の共生でにぎわい創生プロジェクト	
2	侵略的外来水生植物防除対策の推進	オオバナミズキンバイなどの侵略的外来水生植物が急速に生育範囲を拡大していることにより、生態系被害や漁業被害が深刻化していることから、琵琶湖外来水生植物対策協議会などによる防除対策の継続が必要である。	○オオバナミズキンバイをはじめとする侵略的外来水生植物の機械駆除後の群落の再生を、巡回・監視により管理可能な状態に導く。 ○住民、企業等多様な主体との連携による侵略的外来水生植物防除を推進する。	○オオバナミズキンバイについては、約65,000㎡の駆除を行うことを計画しており、成長の勢いが増す前の年度初めから駆除を開始し、新たに定期的な巡回・監視を実施するとともに、岸沿いの浅い場所でも水草を上からつかみ取れる装置（クラムシェル）をはじめ、複数の手法を駆使して効果的な駆除を進め、管理可能な区域を増やしていく。 ○「琵琶湖外来水生植物対策協議会」等を通じて、多様な主体による駆除や巡回・監視を推進する。 ○効果的な防除を進めるため、協議会の各構成団体や近畿地方環境事務所等との一層の情報交換や連携を図る。	4-1 琵琶湖環境の再生と継承	琵琶湖と人の共生でにぎわい創生プロジェクト	自然環境保全課

番号	目標項目	目標設定の理由	目標値等（目標の内容） ※原則として定量的かつより成果を重視したものを設定	目標達成に向けての手段等	基本構想に係る 実施計画の 関連施策	総合戦略に係る 関連プロジェクト	担当所属
3	野生獣被害対策の推進	野生鳥獣による被害は農林水産業のみならず、自然生態系の保全、生物多様性の確保にとっても脅威となっている。特にニホンジカについては適正な生息数を大幅に超過しており、捕獲を進める必要がある。	○ニホンジカの平成22年度の推定生息数47,000～67,000頭の半減をめざし、捕獲数を16,000頭（狩猟および許可捕獲による捕獲）とする。	○市町の捕獲活動について、国および県補助金を活用し、助成 ○広域管理捕獲を霊仙山、伊吹山の高標高地域で県営で実施 ○比良山系・鈴鹿山系において、県が高標高地域における新たな捕獲に取り組む。 ○地域ぐるみでの捕獲など多様な担い手による捕獲の推進 ○ワナ猟による捕獲拡大を図るため、講習会を開催 ○市町、猟友会等関係機関との連携をとりながら、捕獲の推進を図る。	4-1 琵琶湖環境の再生と継承	琵琶湖と人の共生でにぎわい創生プロジェクト	自然環境保全課
4	生物多様性しが戦略の普及啓発	戦略が目指す本県の生物多様性を目指す姿を共有し、取組を着実に推進するためには、生物多様性に関する県民の理解が深まり、各主体による生物多様性に配慮した行動を広めるための普及啓発を行う必要がある。	○生物多様性保全活動評価・認証の試行 ○里山を活用した生態系サービス利用モデルの普及 ○地域住民が主体的に地域の生物多様性を保全することにつながるような自然観察会や学習会を県内各地で35回以上開催する。	○生物多様性保全活動の評価シートを作成する。 ○3箇所（守山市、甲賀市、高島市）の生態系サービス利用モデルにおいて意見交換会を行う。 ○「生物多様性普及推進事業」を活用して、地域住民を対象とした生物多様性に関する以下の自然観察会や学習会を開催する。 ① 身近な自然観察会 ② ニホンジカ等野生動物被害についての学習会 ③ 野生生物の生息環境に配慮した生態系豊かな森林づくりについての学習会 ④ 外来種防除に関する学習会	4-1 琵琶湖環境の再生と継承	琵琶湖と人の共生でにぎわい創生プロジェクト	自然環境保全課

※ 目標は、原則として定量的かつより成果を重視したものを設定すること。また、行政経営方針等の「攻め」、「見える」、「前向き」の視点を踏まえて、より高い目標値の設定に努めること。

※ 「基本構想に係る実施計画の関連施策」および「総合戦略に係る関連プロジェクト」の欄は、該当するものを選択すること。（該当するものがない場合は選択不要）